

平成28年度とちぎ未来アシストネット報告書（栃木市立吹上小学校）

【今年度の重点】

- 1 学校・保護者・地域の連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。
- 2 地域の教育力を活用し、児童の学習意欲を高めるとともに、専門的な知識を生かした学習活動が展開できるようにする。
- 3 ふるさとに愛着と誇りをもてるよう、「ふるさと学習」の充実を図る。

【今年度のボランティア活動等の紹介】



【読み聞かせの様子】

本校では、週2回、朝の活動に読書を位置付けている。そのうち月1・2回を、「読み聞かせ」の時間としており、読み聞かせボランティアの方が活躍されている。児童は、この読み聞かせの時間を心待ちにしており、読書への関心を高めたり、読書の幅を広げたりするよい機会にもなっている。今年度、本校の図書の出し出し数も大きく増えている。



【地域の方と共に球根植え】

2年生は、吹上地区の街づくり協議会の方々と通学路にチューリップの球根植えを行った。この活動は協議会の方からお声を掛けていただいていたスタートした。毎年4月には、チューリップが通学路に見事に咲きそろい、通学する児童を温かく見守ってくれている。子どもたちは地域の方に教えていただきながら、一生懸命球根を植えていた。



【いちご摘み体験】

3年生の社会科「農家の人びとの仕事」では、元PTA会長である大出さんの御協力のもと、いちご作りの工夫や努力を学ぶとともに、いちご摘み体験を行った。子どもたちは採れたてのいちごをおいしそうに頬張っていた。また、このビニルハウスで収穫したいちごで給食用のジャムを作るとともに、大出さんを学校にご招待して交流給食を行った。



【地域の方と共にグランドゴルフ体験】

5年生の総合的な学習「吹上の高齢者とともに」では、多くの地域の方に御協力いただき、高齢者疑似体験や特別養護老人ホームの訪問、吹上地区のグランドゴルフサークルの方々との交流等を行うことができた。これらの経験を通して、豊かな人生経験を積んだ高齢者の素晴らしさに気づき、自分たちにできる福祉について、児童は真剣に考えることができた。



【防災に関する学習】

5年生の総合的な学習「わたしたちの自然災害」では、公民館の方に来ていただき、昨年度起こった吹上地区の水害の様子について教えていただいた。被災状況や避難所となった公民館の様子などについて、スライドを映しながら、詳しく説明して下さった。この学習を通して、自然災害についてより深い知識を得るとともに、状況を理解して対応することの大切さを学ぶことができた。



【吹上地区の歴史を知る】

6年生の総合的な学習「栃木市再発見」では、吹上地区の史跡や歴史等について調べる「ふるさと学習」を行った。地域コーディネーターである大竹博さんの御支援のもと、子どもたちは興味をもって「ふるさと学習」をすすめることができた。吹上地区には歴史的価値の高い史跡等が数多く残されており、この学習を通して、子どもたちは吹上の素晴らしさを再発見することができた。



【感謝の会後の招待給食】

地域に住む元教員の方に、放課後の部活動（陸上部と駅伝部）の指導を昨年に引き続き依頼した。ボランティアティーチャーのもつ専門的な指導力により、子どもたちの体力の向上や陸上競技における技術の向上はもちろんのこと、放課後の部活動を通して、子どもたちは精神面も大きく成長することができた。また、我々教員に対しても、子どもたちを導く教育者として、多くの示唆を与えてくださっている。

【成果】

- 1 学校内外で、多くの地域の方々に授業に協力していただくことができ、学校教育についての理解を深めていただくことができた。
- 2 地域に住む方の専門的な知識を児童の指導に生かすことができ、教科や総合的な学習、部活動等の学習活動が充実した。
- 3 吹上地区のよさを感じ取り、誇りに思う児童がさらに増えた。
- 4 学校からだけでなく、地域の方からも学校に声が掛かるようになり、双方向の交流が行えるようになってきた。

【今後に向けて】

- 1 読み聞かせのような長く続ける活動を大切にするための工夫と人材の確保。
- 2 自然に無理なくボランティアを続けていただくための工夫。
- 3 学校コーディネーターと地域コーディネーターの連携強化